

台風被害はひとつじゃない

●雨による被害

長時間に広範囲に降る雨が台風雨の特徴。梅雨、秋雨前線が停滞しているときは特に長く降り続きます。

洪水や浸水、土砂崩れなどの被害が起こる可能性があります。

●風による被害

台風の風は、台風の中心がどこを通るかによって、風向きが変化します。台風が目が通り過ぎても、強い吹き返しに注意してください。建物や樹木の倒壊の恐れもあります。

台風が来る前に

●非常用品の準備

水や食料、非常用持ち出し袋を準備。玄関においてすぐ持ち出せるようにしましょう。

懐中電灯、ろうそく、マッチ、携帯ラジオ、乾電池、救急用品、貴重品等

●生活用水の確保

断水を想定して、浴槽に水をはっておきましょう。



●室内を守る

強風や雨による被害を防ぐため、ガラス窓にテープを貼り、カーテンやブラインドをしめましょう。

●家族の所在を確認

会社に行っている家族に連絡をとり、所在を確認しましょう。この時、日頃から家族の連絡網を準備しておくとう便利です。

台風が来たら

●台風情報に注意

テレビやラジオから流れる気象台からの情報。注意報、警報、大雨情報もこまめに確認して、つねに最新情報を入手するようにしましょう。河川や海の近くでは、川の水位、潮位にも注意が必要です。



●強風による飛来物に注意

強風にあおられ転倒してケガをする被害のほか、看板や瓦が飛んできてケガや死亡するケースも。やむを得ず外に出る場合は細心の注意が必要です。

●むやみに外には出ない

海や川のそばにいなくても、雨で増水した川や側溝、冠水したマンホールなどで、転落事故の恐れがあります。よほどのことがない限り、外には出ないように。ただし、身の危険を感じたら、すばやく避難しましょう。

避難に関する情報

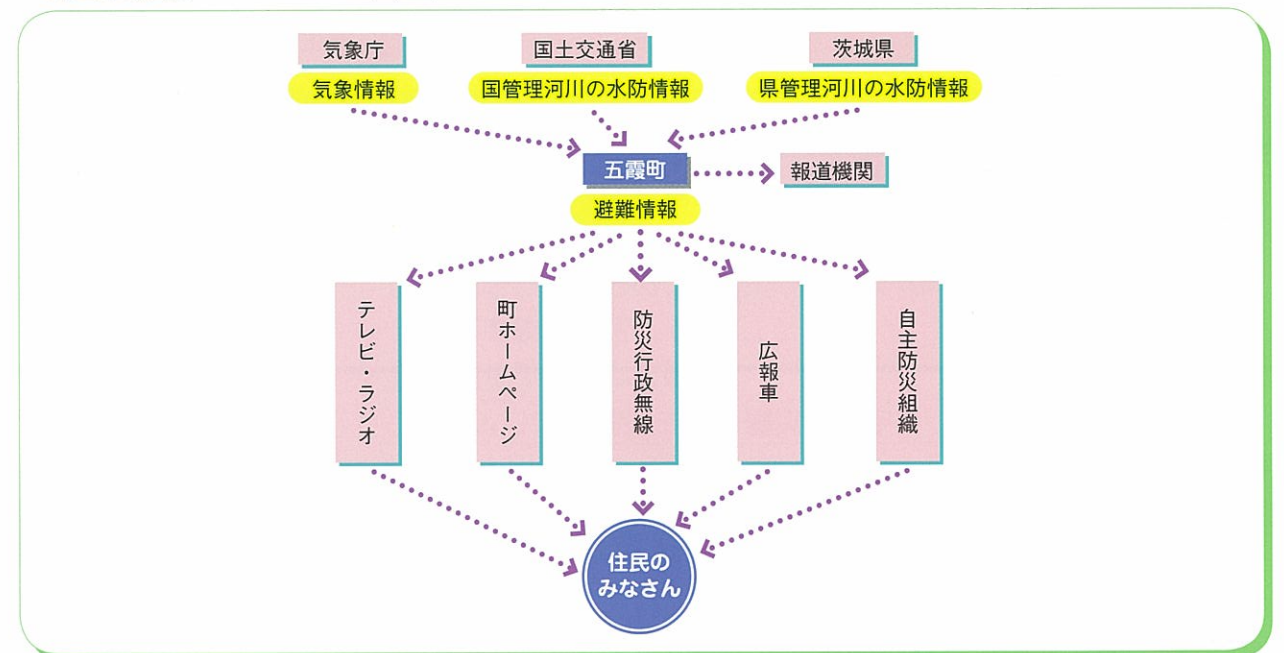
避難に関する情報は3種類あります

災害発生のおそれがある場合、町は、防災気象情報などを参考にして避難の必要性を判断します。避難情報には災害の切迫度に応じて3種類があり、町がもつ広報手段によって、またテレビ・ラジオなどを通して住民に伝達されます。

避難指示などの種類	町からの呼びかけ	みなさんがとるべき行動
①避難準備情報	ただ今、□時□分に○○地区に対して避難準備情報を出しました。今後の××情報に注意してください。	いつでも避難できるように、避難の準備をしておきましょう。特に高齢者などの災害時要援護者は早めに避難しましょう。避難所の開設状況については町役場にお問い合わせください。
②避難勧告	ただ今、□時□分に○○地区に対して避難勧告を出しました。△△の恐れがあります。○○地区の住民の方は直ちに避難してください。	お互いに助け合い、指定された避難場所に速やかに避難を始めましょう。自動車による避難はできるだけやめましょう。
③避難指示	ただ今、□時□分に○○地区に対して避難指示を出しました。△△の危険があります。○○地区の住民の方は直ちに避難してください。	避難場所に直ちに避難しましょう。(洪水・津波の場合は一時的に高台も避難可能です。)

注意事項: あらかじめ近くの避難所までの避難経路を確認してください。状況によっては道路が浸水して通れない恐れもあります。

●避難情報のおおまかな伝達経路



災害が発生する可能性がある場合、避難勧告などが発令前でも危険を感じた場合は、近くの避難所などへ避難してください。